滞在型市民農園 ”クラインガルテン“

大都市災害時における一次避難先としての常総市の潜在能力について

議員　常総市が大都市災害時の一次避難所として、資金投入せずに避難場所を追加するには、既存の施設を転用することが考えられる。そこで、市内における農業用温室設備の棟数を問う。

産業労働部長　ハウスは１１５７棟ある。

議員　これだけハウスの数があれば、今後被災された方を救うために、こうした施設を活用することもできると考えられる。次に、東京都内の区と災害協定を結ぶ可能性はあるのか。

市民生活部長　災害協定の締結に向けて積極的に進めていきたい。

議員　災害協定が成立したとして、当市から東京都の区に対する要望事項は、老人福祉施設の当市への設置、当市におけるクラインガルテンの設置により、日常的な交流を密にする活動が考えられるが、市の考えは。

市民生活部長　高齢者施設の誘致については、常総市高齢者プランにより施設整備を進めており、現段階では難しい。クラインガルテン設置については、既に水海道あすなろの里があり、そこで交流ができるとともに、一次避難先としても活用できると考えている。

議員　老人施設を誘致することで若い人の雇用を生んだり、経済的な活性化をもたらす。積極的に進めていただきたい。クラインガルテンの設置についても積極的に検討していただきたい。市長は、今後の防災協定についてどのように進めていくのか。

市長　今、いくつかの区と情報のやり取りを始めている。県南西地域一体となって、避難者の受け入れをはじめ、いろいろな部分で貢献する地域でありたいと考えている。

堀越　輝子　議員

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

知恵を総動員して地域を守る

地域の環境保全、美化について

道路に張り出した樹木

議員　市内には、道路に草木が飛び出し、５メートルの道路幅があるわけなのに、３メートルしかないところがある。市民の方も本当に困っている。環境美化からいっても決して格好良くはない。外国から旅行者を大量に呼ぶといっても、そんな草だらけのところに誰が来るのか。お金をかけなくても地域の力を利用して、環境美化もできるのではないか。

市民生活部長　私有地から道路に張り出している立ち木などについては、所有者に対し伐採や撤去をしてもらうようお願いをしている。草木の繁茂やごみが放置されないことが地域の環境を保ち、交通安全にもつながると考えている。

議員　草が１メートルも道路に出ていたりすると、小中学生はそこをよけて通る。車が後ろから来て、本当に危ない。知恵を絞ってくださいと前も言ったつもりだが。

建設課長　道路に草が繁茂している危険箇所については、住民から依頼があれば草刈りをしている。

議員　柏市などでは、環境美化等を行う地域の団体に支援を行っているようだが。

建設課長　当市では、道路の除草等を行った団体に対して、１人１０００円の補助を出している。

議員　これからどんどん高齢化して、自分では木を伐採できないような一人暮らしのおばあちゃんも増えていく。真剣に勉強して地域の人が安心して暮らせるような地域の環境保全と美化に取り組んでいただきたい。

新田　宏安　議員

掲載できなかった質問　▶市長の市政運営について